

リンゴ授粉専用品種のポット大苗移植による結実安定効果

【1 成果概要】

授粉専用品種をポット大苗で単植園へ導入することにより、リンゴの結実が安定します。ポット大苗移植は軽作業であり、使用するポットは生分解性ポットが有効です。



写真1 授粉専用品種のポット大苗養成

スコップで掘り上げる
作業時間は1ポットあたり約30秒



写真3 リンゴの単植園に移植した授粉専用品種（品種：中央がアトサギナ、両隣が黄香）



写真2 掘り上げた授粉専用品種のポット大苗
（品種：ドルゴ、ポットは生分解性ポット）

リンゴ単植園や結実不良園地の樹間に授粉専用品種を大苗移植

【2 留意事項】

- 1 授粉専用品種は主要品種が落花後、速やかにせん定します。また、太い枝のせん定痕には枯れ込み防止のため、癒合剤を塗布します。
- 2 受光体勢が不良な園地ではポット大苗の生育が劣るので、日当たりが良い園地に移植しましょう。また、移植後は支柱に誘引をして、生育向上のため摘果を実施します。
- 3 訪花昆虫の利用は必要です。

【3 効果】

- 1 リンゴの単植化が可能となり、薬剤散布によるドリフト問題の解消につながります。
- 2 結実、果実品質の向上につながります。

【4 適応対象】

農業普及員等の指導者等